

題名:「今後の水管理について」

内容:

管内では連続した高温、無降雨状態となっています。気象庁の1か月予報(7月24日発表)によると、今後も高温が予想されております。

中生品種圃場では走り穂が散見されるようになり、出穂期まであとわずかの状態となってきました。下記を参考に水管理をいただきますようお願い致します。

【当面の水管理】

※節水に努め、土地改良区の水利使用規則、地区の配水(番水)計画、ルールを必ず守り、地域全体に水が行き渡るようにしましょう！

◇出穂から穂揃い期(7日間程度)は湛水管理(花水)とします。出穂が早まっている可能性がありますので、圃場をよく観察して遅れないようにしましょう。

◇出穂期など、用水が集中すると水がかかりにくくなる恐れがあります。早めに湛水するなど用水が地域全体に行き渡るよう配慮しましょう。

※用水が不足し湛水ができない場合は、『飽水管理(作溝に水を溜めておくこと)』を行い、土中に水分がある状態にしましょう。

◇穂揃い期以降は飽水管理や、間断灌水(2湛2落または2湛3落)へ移行しましょう。

今後も高温が予想されております。農作業等の際はこまめな水分補給を忘れず、休憩を取りながら無理をなさらないようご注意ください。